

平成 29 年度	<b>上下水道事業部の取り組み実績</b>
	<部の構成> 上下水道計画課、浄水課、上水道工務課、上水道保全課、汚水整備課、雨水整備課、下水道施設維持課

## 1. 重点施策・事業

(1) 水道管路更新・耐震化事業	
目標	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新及び耐震化を効率的かつ効果的に進めるとともに、引き続き上水道施設整備基本計画の平成 30 年度策定に向けて取り組みます。
取り組み	約 10km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替え及び上水道施設整備基本計画の策定を進めます。 平成 29 年度当初予算：2,686,000 千円
実績	約 16km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を行い、1,660 件の鉛製給水管の取替えを実施しました。(耐震化率 23.9%、鉛製給水管率 17.4%) また、上水道施設整備基本計画の策定については、既存の水道施設の調査に基づく施設評価を行い、財政収支を見通した中長期整備計画の作成や、上下水道経営部において別途策定中の経営戦略との整合に取り組みました。 平成 29 年度決算：2,404,327 千円
取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>	

(2) 中宮浄水場更新事業	
目標	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
取り組み	基本構想により検討した計画諸元に基づき、施設計画や施工方法の検討を行う基本設計に取り組むとともに、更新用地の既存建物の解体工事を完了します。 平成 29 年度当初予算：115,000 千円
実績	策定した中宮浄水場更新基本構想に基づき基本設計に着手するとともに、「枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針」に基づき PPP 手法の導入に向けた検討を進めました。また、更新用地の既存建物の解体工事を完了しました。 平成 29 年度決算：308,209 千円 (※補正予算等の対応あり)
取り組みに対する達成状況 <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>	

<b>(3) 応急給水拠点の整備</b>	
<b>目標</b>	大規模災害に備え、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めます。 完成目標：鷹塚山配水場（平成 32 年度）、津田低区配水場（平成 33 年度）
<b>取り組み</b>	平成 28 年度に着手した鷹塚山配水場更新工事を引き続き進めるとともに、津田低区配水場耐震化工事の実施設計に着手します。 平成 29 年度当初予算：176,000 千円
<b>実績</b>	引き続き、鷹塚山配水場更新工事を進めるとともに、津田低区配水場耐震化工事の実施設計に着手しました。 平成 29 年度決算：115,890 千円
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

<b>(4) 下水道施設維持管理事業</b>	
<b>目標</b>	浸水被害対策等に備え、下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施します。
<b>取り組み</b>	下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修を実施するとともに、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能保全を図ります。 平成 29 年度当初予算：1,081,757 千円
<b>実績</b>	直営、委託等により下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修を行うとともに、老朽化した下水道管の機能を保全するために更生工事を行いました。 平成 29 年度決算：741,940 千円
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

<b>(5) 公共下水道汚水整備事業（住居系地域）</b>	
<b>目標</b>	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。
<b>取り組み</b>	住居系地域の汚水整備については、平成 30 年度概成をめざし、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組めます。 平成 29 年度当初予算：1,143,010 千円
<b>実績</b>	平成 29 年度整備予定地区の工事を進めるとともに、平成 30 年度整備予定地区の設計業務を実施しました。また、未承諾地区や整備困難地区の 2 地区について、整備に向けた設計業務を行いました。 平成 29 年度決算：1,220,016 千円（※補正予算等の対応あり）
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

<b>(6) 公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）</b>	
<b>目標</b>	工場等事業所系の汚水整備については、「行政と事業者」が協力し合うことを基本としながら実情に応じた効率的、効果的な手法で水循環の保全を図ります。
<b>取り組み</b>	枚方七企業団地において未整備である枚方工業団地については、平成 27 年度に着手し、今年度も引き続き、平成 30 年度の完成を目途に整備を進めます。また、枚方東部企業団地については、平成 31 年度からの整備に向けた基本設計に着手します。 平成 29 年度当初予算：97,000 千円
<b>実績</b>	枚方工業団地においては、平成 30 年度の完成をめざし約 0.2km の整備工事を行いました。また、枚方東部企業団地については、整備に向けた基本設計に着手しました。 平成 29 年度決算：91,685 千円
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

<b>(7) 下水道施設の長寿命化対策</b>	
<b>目標</b>	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
<b>取り組み</b>	平成 28 年度に策定した下水道長寿命化計画に基づき、汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の実施設計に取り組みます。 平成 29 年度当初予算：92,085 千円
<b>実績</b>	汚水管渠の長寿命化を目的とした下水道施設の実施設計を行いました。また、ポンプ場遠方監視設備についても、更新工事の実施設計を行いました。 平成 29 年度決算：25,669 千円
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

<b>(8) 公共下水道雨水整備事業</b>	
<b>目標</b>	浸水に強い安全で安心して快適に暮らせるまちとするため、雨水管渠やポンプ場の整備を推進し、浸水被害の軽減に取り組みます。
<b>取り組み</b>	浸水対策として、新安居川・溝谷川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や、下水道事業計画に基づいた雨水管渠・水路の整備を推進します。 平成 29 年度当初予算：1,750,469 千円
<b>実績</b>	新安居川ポンプ場では、ポンプ場土木工事の整備を進めるとともに、建築工事に着手しました。溝谷川ポンプ場では、沈砂池築造工事の整備を進めています。下水道事業計画に基づいた雨水管渠・水路の整備として、平成 27 年度から着手していた船橋本町雨水支線を完成させるとともに、渚栄町地区などで整備を完了させました。 平成 29 年度決算：1,915,294 千円（※補正予算等の対応あり）
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

<b>(9) 下水道浸水被害軽減総合事業</b>	
<b>目標</b>	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、「下水道浸水被害軽減総合計画」に基づき、雨水貯留施設の整備を進め浸水被害の軽減に取り組みます。
<b>取り組み</b>	下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、蹠排水区では、サダ雨水貯留管整備工事を引き続き進め、楠葉排水区では、楠葉雨水貯留管整備工事に着手します。 平成 29 年度当初予算：1,984,000 千円
<b>実績</b>	蹠排水区においては、雨水貯留管の整備工事を進めており、楠葉排水区では、雨水貯留管の整備工事に着手しました。 平成 29 年度決算：1,007,461 千円
<b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>	

## 2. 行政改革・業務改善

### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な整備・更新	給水人口や有収水量などの長期的な見通しを踏まえ、「上水道施設整備基本計画」を策定し、計画的に施設の整備、更新を進めます。その中で、水道施設のダウンサイジングや統廃合についても検討します。 また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から、民間活力の活用も検討しながら、同施設の「基本構想・基本設計」を策定し、平成 37 年度の給水開始をめざします。
<b>実績</b>	「上水道施設整備基本計画」の策定については、水道施設の調査と調査に基づく施設評価を行い、財政収支を見通した中長期整備計画の作成や、上下水道経営部で別途策定中の経営戦略との整合に取り組みました。 中宮浄水場の更新については、処理方式を膜ろ過方式、1日あたりの処理能力を11万立方メートルの浄水場に更新することを決定し、民間活力を利用した事業手法について、枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針に基づき第3次検討に着手し、引き続き基本設計の策定に取り組みました。
<b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>	

改革課題	取り組み内容・目標
32. 下水道施設の長寿命化	老朽化した下水道施設の機能を適切に維持管理し、計画的に施設の改築・修繕を行うため「下水道施設長寿命化計画」の策定により、下水道施設の延命化と維持管理費の平準化を図ります。
<b>実績</b>	「下水道長寿命化計画」に基づき、汚水管渠及び遠方監視設備の改築工事に向けた実施設計を行いました。また、国土交通省による「下水道長寿命化支援制度」が「下水道ストックマネジメント支援制度」に変更されたことで、下水道施設を一体的に捉え、計画的な点検・調査及び改築・修繕を進めるための「下水道ストックマネジメント計画」の策定が必要となったことから、平成30年度の計画策定に向け、ポンプ場設備詳細調査（短期点検・調査計画の策定）を行いました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、直営との役割分担を踏まえつつ、道路掘削作業など、その一部に民間活力を導入し、事業者の技術の習得状況を確認しながら、技能労務職員の適正な配置を行います。
<b>実績</b>	「水道管漏水等修繕工事」については、平成29年4月から工種の拡充を図るとともに、登録業者を8社から11社に拡大し、業務の繁忙期や漏水発生時の重複時に民間活力を導入し、休日・夜間の漏水修繕工事を含め36件発注しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置していますが、ポンプ場の機器自動化や遠方監視設備の導入に合わせて配置基準の見直しを進めます。
<b>実績</b>	遠方監視装置の長寿命化に伴う更新工事は実施設計の段階であり、自動運転化との連携を含め、機器の状態監視及び遠隔操作を行うシステムと、監視カメラによる状態監視を行うシステムの2系統に分けて設計を行いました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
工事発注等に係る事務処理の改善	既存のチェックシートを更新して活用することにより、業務の効率化を進めるとともに、事務処理の正確性を確保します。
<b>実績</b>	部内に設置した「設計積算適正化検討部会」を開催し、各課のチェックシートの改善事例やヒヤリハット集を共有化することで、工事等の発注に係る適切な事務処理の徹底及び正確性の確保に向けたチェック体制の構築に取り組みました。
<b>取り組みに対する達成状況</b> 【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
水道維持管理業務における漏水修繕手法の検討	水道維持管理業務は、人材確保と技術継承が大きな課題となっていることから、平成 28 年度から実施している単価契約による給水管漏水修繕工事の工種を配水管の一部まで拡大することにより効率的な工事発注を行い、民間事業者の受注状況を検証します。
<b>実績</b>	単価契約による漏水修繕工事の工種を配水管の一部まで拡大し、工事毎の漏水修繕工事として 36 件 91 箇所を発注しました。また、現行サービスを維持するため漏水修繕業務に携わる若手職員の人材育成及び技術継承に努めました。
<b>取り組みに対する達成状況</b> 【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
危機管理体制の充実	平成 28 年度に策定した危機管理マニュアルに基づいて、台風による大雨や地震などの自然災害、漏水事故等による断水に備え、速やかに対応できるように、定期的な訓練を実施します。
<b>実績</b>	緊急出動班体制に基づく給水訓練や、各地域での自主防災訓練への参加などを定期的に行いました。また、大雨警報等発令による緊急出動時には部内各課で連携し、対応を行いました。
<b>取り組みに対する達成状況</b> 【 ◎ 】	

### 3. 予算編成・執行

◆水道事業については、災害に強い持続可能な水道をめざすとともに、これまで以上の経営の効率化・財政基盤の強化に向けた取り組みを進めます。

<b>実績</b>	持続可能な水道をめざし、将来人口予測や水需要予測に基づくアセットマネジメント手法を用いた「上水道施設整備基本計画」の策定に向けた取り組みを進めました。
<b>取り組みに対する達成状況</b> 【 ◎ 】	

- ◆下水道事業については、整備事業に国費を活用するとともに、経営の効率化、経費削減に努め、一般会計からの基準外繰入金の抑制を図りながら、独立採算に向けた取り組みを進めます。

実績	枚方市新行政改革実施プランに基づく繰入金抑制等により、一般会計繰入金は減少し、国費については、浸水対策事業や汚水管の整備工事等に活用しました。	
	国費執行額：約 15 億 2,290 万円 【対前年度決算比】 一般会計繰入金削減額：約 3 億 7,315 万円	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

#### 4. 組織運営・人材育成

- ◆老朽化した上下水道施設の計画的な改築・更新や、適切な維持管理を図るために、効率的・効果的な組織運営に努めます。

実績	水道と下水道の施設情報を一元管理し、業務の効率化や危機管理機能を強化するため、施設情報管理システムの統合・再構築業務委託発注に向けた仕様書等を庁内プロジェクトチームで検討し、策定しました。
	取り組みに対する達成状況

- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

実績	部内で専門研修（設計積算、CAD 研修）や調査への同行等の実地研修の実施及び外部の研修や技能講習への参加など、職員の資質や能力の向上に努めました。
	取り組みに対する達成状況

#### 5. 広報・情報発信

- ◆市民の皆様が安心して水道水を利用できるよう、施設の更新・耐震化事業や水質管理についての情報発信を行います。

実績	水質検査計画に基づき実施した定期の水質検査結果を、実施の都度ホームページに掲載するとともに、年報として取りまとめ、ホームページや行政資料コーナー等で公開することにより、年間を通じて全ての検査項目で国の定める水質基準を満たした安全・安心な水道水の供給について、情報発信を行いました。
	取り組みに対する達成状況

- ◆市民の皆様が安心できるようホームページやリーフレット等を活用した浸水対策事業等の下水道事業の見える化を進めます。また、ホームページによる工事の進捗状況のお知らせや現場見学会を実施するなどの情報発信に努めます。



浸水対策のリーフレット（平成 28 年 9 月作成）

実績	浸水対策事業等の見える化について、ホームページの更新やリーフレット等の配布など工事の進捗状況をお知らせするなどの情報発信に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】